



横浜市内の公道・公共施設 4 か所で EV 充電ステーションの運用を開始します

横浜市は、2050 年までの脱炭素社会の実現に向けた取組の一つとして、市内で電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド車（PHV）（以下総称して「EV」という。）に乗りやすい環境整備に向けて、充電インフラ拡充の取組を積極的に進めています。

本取組の推進のため、市内の公道や公共施設に急速充電器を備える「EV 充電ステーション」を整備する事業提案を募集し、その後、選定された事業者による整備が進んでいましたが、このたび、令和 8 年 1 月より順次運用を開始します。なお、今回運用を開始する 2 件の公道 EV 充電ステーションについて、公募を経て事業化に至った全国初の案件となります。

公道 EV 充電ステーション

① 栄区本郷台公園前公道充電ステーション【新規】

設置場所：栄区柏陽 1-1 地先
運用開始日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）15 時
運用時間：24 時間
充電器出力：90kW、充電口数：2 口
事業者：Terra Charge 株式会社



Terra Charge 株式会社の
充電サービスについてはこちら



② 泉区いずみ中央公道充電ステーション【新規】

設置場所：泉区和泉中央南 5 丁目 14-3 地先
運用開始日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）10 時
運用時間：7:00~23:00
充電器出力：90kW、充電口数：2 口
事業者：Terra Charge 株式会社



公共施設 EV 充電ステーション

③ 金沢区役所充電ステーション【新規】

設置場所：金沢区泥亀 2 丁目 7
運用開始日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）10 時
運用時間：24 時間
充電器出力：50kW、充電口数：1 口
事業者：Terra Charge 株式会社



④ 都筑工場充電ステーション【30kW⇒150kWへ更新】

設置場所：都筑区平台 27-1
運用開始日時：令和 8 年 1 月 20 日（火）10 時
運用時間：24 時間
充電器出力：150kW、充電口数：1 口
事業者：株式会社 e-Mobility Power



株式会社 e-Mobility Power の
充電サービスについてはこちら



※充電料金については、契約する会社やプランごとで異なる料金形態となります。
運用開始日時については、現地状況により変更になる場合があります。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

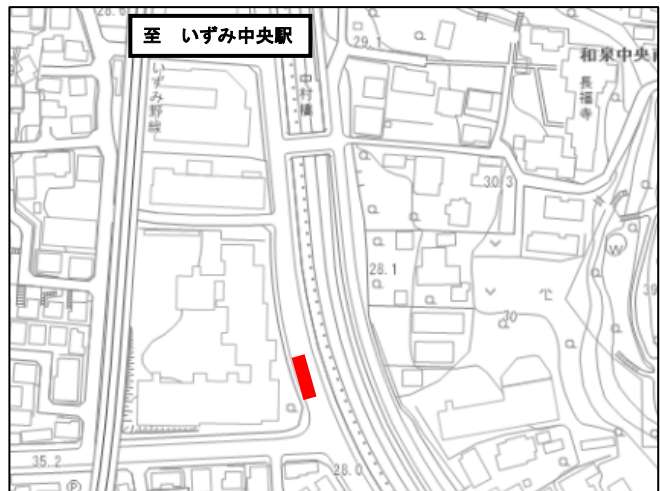


【参考】各ステーションの設置場所

① 栄区本郷台公園前公道充電ステーション



② 泉区いずみ中央公道充電ステーション



③ 金沢区役所充電ステーション



④ 都筑工場充電ステーション



【参考】公道へのEV急速充電ステーション設置に関する事業経緯

- ・ 令和2年9月：国土交通省「道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）」に採択
- ・ 令和3年6月：第1弾 実証実験開始（青葉区しらとり台）
- ・ 令和5年2月：第2弾 実証実験開始（都筑区センター南駅広場）
- ・ 令和5年11月：事業化を見据えた公道EV充電ステーション事業提案公募（栄区、泉区他）
- ・ 令和5年12月：第3弾 実証実験開始（中区新港中央広場）
- ・ 令和6年4月：実証実験3か所の事業化（国ガイドライン策定により占用条件ルール化）
- ・ 令和7年4月、11月：公道EV充電ステーション事業提案公募（青葉区、西区、港北区）

次頁あり



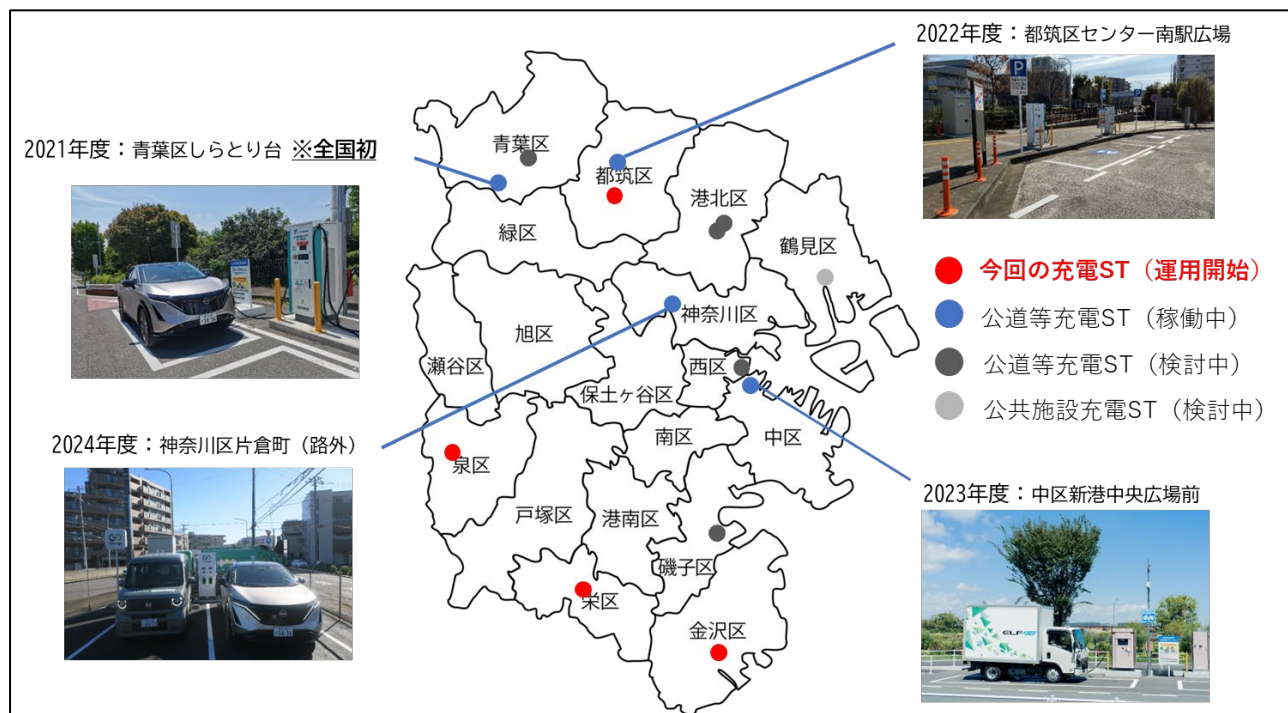
GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【参考】市有地を活用した公道・公共施設等 EV 急速充電器設置状況

横浜市は充電インフラ整備の設置拡大に向けて 2027 年度までに、市域に急速充電器口数 400 口（民間設置も含む）を目指しており、市有地を活用した公道や公共施設への急速充電器設置にも積極的に取り組んでいます。充電インフラ拡充により、EV 購入意欲を促進し EV に切り替えやすい環境を作ってまいります。



図：市内の公道・公共施設 EV 充電ステーション

お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 循環型社会推進課 担当課長 飯塚 泰明 Tel 045-671-2666



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

